

[教職員]

回答人数	103	回答率	92%
------	-----	-----	-----

区分	評価項目	
小学部	1-1	実態把握や集団活動、評価の方法などを工夫する視点から授業づくりについて話し合い、確かな育ちにつながる実践を進めることができたか。
中学部	1-2	障害や個人の特性、生徒を取り巻く環境に配慮しながら、自己肯定感や自己有用感、それに基づく社会性を育てる指導や支援ができたか。
高等部	1-3	「仕事」「生活」「余暇」のつながりを意識した内容や自己理解を深めるための自己評価を取り入れた授業実践ができたか。
教務	2	「広ほうまるちゃんす」や玄関への掲示物は写真の配置や内容等、読みやすいものになっていたか。
総務	3	保護者対象の研修会やPTA総会は円滑に運営できたか。
メディア教育	4	ICT機器を効果的に活用した学習活動を計画、実施することができたか。
研究部	5	児童生徒の「育ち」をつなぐ授業を実践するために、部や学年で設定したテーマに基づいて授業研究や部現教に取り組み、指導や支援の充実に役立てることができたか。
人権同和	6	現地研修やビデオ研修の実施、各部の人権学習や保護者研修会などの内容について掲載した人権・同和教育だより「青空」を通して、人権について考えたり、新たな知識を得たりすることができたか。
生徒指導	7	警察と連携した行事や生徒会のあいさつ運動を通して、児童生徒が安全な生活や行動のために必要なルールやマナーについての理解を深めることができたか。
進路指導	8	「職員研修」を通して、卒業後の就労における動向や福祉サービスの選択方法や活用、進路状況等について情報提供ができたか。
保健美化	9	健全な食生活を身につけるための情報提供の一環として、給食一口メモやプレイルームの食育掲示板などは、児童生徒が食に対する関心を高める手立てとなったか。
学びと育ちの相談センター	10	公開研修会や連携訪問事例検討会等を通して、発達障害についての理解も含め、子どもの実態把握や指導・支援につながる知識を得ることができたか。
いじめ	11	いじめの早期発見、早期解決のために、適切な対応がとれているか。
SB	12	スクールバスは安全に運行されているか。
総 計		

